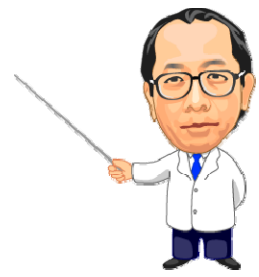


「私の顔、ちょっとおかしい?！」

……と、ご心配な方へ

立川中央病院附属健康クリニック・院長 坂井春男



1 瞼(まぶた)が閉じない。口元がゆがんで涎(ヨダレ)がでる……

「顔面神経麻痺」の可能性が高いと思います。まず耳鼻科の受診をお勧めします。早く治療を開始した方が回復率は良好です。脳の病気が原因の場合もあります。薬と理学療法で殆どの場合元どおりになります。聴力障害や外耳の発疹を伴うときはラムゼイ・ハント症候群という水痘ウイルス感染のばあいがあります。



2 瞼(まぶた)がピクピクする。目の下・口周りが痙攣する……

「片側顔面痙攣」の可能性が高いと思います。脳神経外科の受診が必要です。現在ボトックス注射がスタンダードで保健適応です。希に脳の病気が潜んでいることがありますので少し検査が必要です。よくご相談して方針を選びましょう。



3 瞼(まぶた)が下がってものが見難い。眠そうな目つきになる……

一側の瞼の下垂は「動眼神経麻痺」の可能性が高いです。原因は脳血管の瘤や糖尿病の場合もあります。両側の場合は「筋無力症」や「加齢による眼瞼下垂」のことがあります。まず診察は神経内科、眼科、脳神経外科のいずれかです。



4 顔に激痛が走る。洗顔や歯磨きで顔にイタタッ!! ……………

「三叉神経痛」の可能性が高いです。原因は多くの場合頭の中で三叉神経と血管との接触で起こります。洗顔や歯磨きで一側の顔に鋭い刺すような痛みを自覚します。薬が無効なときのみ手術が必要です。虫歯や蓄膿症に原因がある場合もありますが、まず脳神経外科あるいは神経内科の受診が必要です。



5 顔半分の感覚がなんとなく鈍い……………

まず顔の感覚神経「三叉神経」の病気を否定しなくてはなりません。腫瘍が三叉神経を破壊している場合もあります。耳鼻科疾患が原因のこともあります。脳梗塞も念頭において検査を急ぎます。脳神経外科、神経内科が窓口です。



6 顔の一部がピリピリと痛み発疹が出てきた……………

「带状疱疹」の可能性が高いです。顔の知覚神経(三叉神経)に潜在していた水痘帯状疱疹ウイルスが活動を始めるために発症します。正中を越えないことが特徴です。眼の角膜に分布している三叉神経の枝に感染が及ぶと視力に影響が出てきます。早期に皮膚科を受診して適切な投薬を受ける必要があります。



7 表情に乏しくなっていていつもボーっと凝視していることが多い……

表情筋の動きが減る(無表情になる)病気にはパーキンソン病があります。他に、慢性進行の脳圧亢進による場合もあり、原因には脳腫瘍が意外と多いのです。うつ病や痴呆症を疑って検査を進める必要もあります(脳外科、神経内科、精神科)

